

映画 命の始まり

The Beginning of Life

日本語字幕版 東京上映会

2017年1月18日（水）

午後2時

ユニセフハウス（東京都港区）

先着130名様 無料ご招待

unicef



for every child



©The Beginning of Life

ユニセフ「ECD世界キャンペーン」

ユニセフは、乳幼児期の子どもの発達（Early Childhood Development = ECD）をサポートするケアの重要性と、そうした取り組みや同分野への官民の投資を訴える「ECD世界キャンペーン」の企画として、ユニセフも制作に協力したドキュメンタリー映画『命の始まり（原題：O Começo da Vida / The Beginning of Life）』の世界同時上映を進めております。東京のユニセフハウスでも、日本語字幕版を上映いたします。

本上映会では、ゲストスピーカーとして、国連子どもの権利委員会の委員に日本人として初めて選ばれた大谷美紀子弁護士をお招きし、「子どもの権利」の視点からECDに関わる施策の重要性について解説いただきます。

ドキュメンタリー映画『命の始まり』

『世界中の子どもが危ない（Muito Além do Peso / Way Beyond Weight）』などの作品で知られるブラジル人のエステラ・ヘネル監督による本作は、アルゼンチン、ブラジル、カナダ、中国、フランス、イタリア、ケニアとアメリカの8か国で撮影。約90分間のドキュメンタリー映画は、異なる文化や民族、社会的背景の中で、父親・母親それぞれの役割、遊びと脳の発達、母乳育児、貧困といったテーマを取り上げ、「子どもの成長にとって大切な乳幼児期の経験や親の果たすべき役割はどのようなものか？」を考えるきっかけを与えてくれます。

ゲストスピーカー 大谷美紀子（おおたに みきこ）弁護士



1990年東京弁護士会に弁護士登録。子どもの権利、女性の権利、外国人の権利、人身取引、人権教育等の分野で活動し、子どもの権利条約をはじめとする国際人権条約の実施のための活動に国内外で取り組む。2016年、子どもの権利条約の各国の履行状況を審査する「子どもの権利委員会」の委員に日本人として初めて選ばれ、2017年3月から4年間の任期を務める。現在、日本弁護士連合会国際人権問題委員会委員長。

『命の始まり』東京上映会

1月18日（水） 午後2時～4時
（午後1時30分開場）

【会場】

ユニセフハウス 1Fホール
東京都港区高輪4-6-12
JR品川駅より徒歩約7分

【お申込み】

日本ユニセフ協会ホームページ
www.unicef.or.jp

お知らせ



【お問い合わせ】

日本ユニセフ協会 広報室
電話 03-5789-2016
E-mail: event@unicef.or.jp